

# === T A C S 情報 第1号 ===

(Toyama Agricultural Cultivation Management Information System)

令和5年5月30日

農業技術課 広域普及指導センター

## 1 気象経過

### (1) 気温

5月上旬の平均気温は、16.5℃（対平年差+0.2℃）と平年並であった。

5月中旬の平均気温は、18.2℃（同+1.0℃）と平年に比べ高かった。

5月5半旬の平均気温は、17.8℃（同-0.8℃）と平年に比べ低かった。

### (2) 降水量

5月上旬の降水量は、160.0mm（対平年比 366%）と平年に比べかなり多かった。

5月中旬の降水量は、16.5mm（同 38%）と平年に比べ少なかった。

5月5半旬の降水量は、5.5 mm（同 32%）と平年並であった。

### (3) 日射量

5月上旬の平均日射量は、20.9MJ/m<sup>2</sup>/日（対平年比 117%）と平年に比べ多かった。

5月中旬の平均日射量は、20.5MJ/m<sup>2</sup>/日（同 113%）と平年に比べ多かった。

5月5半旬の平均日射量は、19.8MJ/m<sup>2</sup>/日（同 104%）と平年並であった。

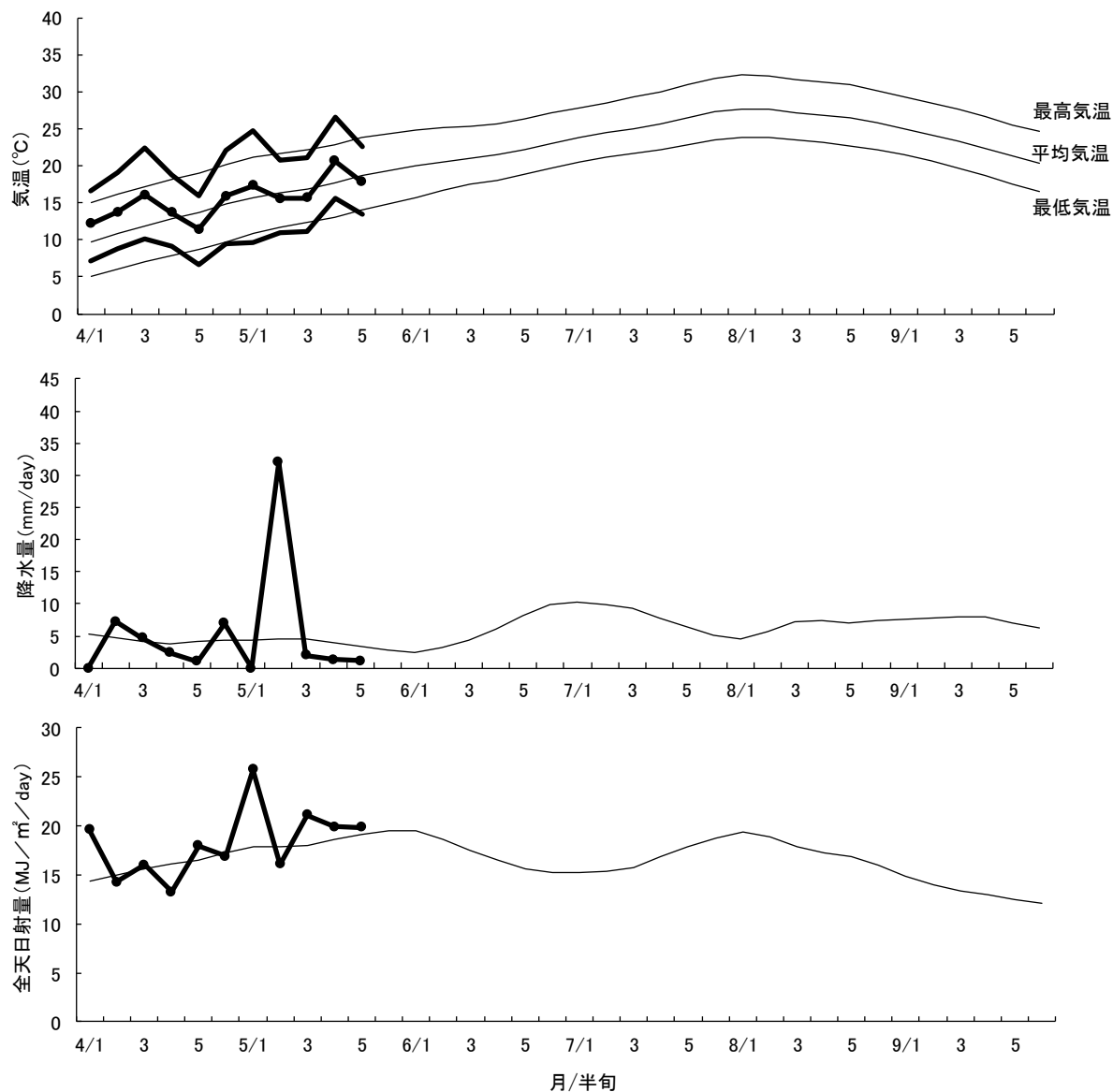


図1 令和5年の気象経過（富山地方気象台）

## 2 生育状況（生育観測ほデータ）

### （1）苗の状況

#### ①てんたかく

平年に比べ、草丈はやや短く、葉齢、第1葉鞘長は並で、乾物率はやや低かった。

#### ②コシヒカリ

平年に比べ、草丈、葉齢、第1葉鞘長、乾物率は並であった。

#### ③てんこもり

平年に比べ、草丈、第1葉鞘長、乾物率は並で、葉齢は0.2葉大きかった。

表1 苗の生育状況（生育観測ほ）

品種	年次	草丈 (cm)	葉齢 (葉)	第1葉鞘長 (cm)	生体重 (mg)	乾物重 (mg)	乾物率 (%)	充実度 (mg/cm)
てんたかく	<b>R5</b>	<b>12.3</b>	<b>2.7</b>	<b>3.2</b>	<b>86.0</b>	<b>15.3</b>	<b>17.8</b>	<b>1.25</b>
	R4	13.6	2.7	3.4	91.1	16.1	17.7	1.20
	平年	13.3	2.7	3.2	89.5	17.2	19.1	1.29
	前年比・差	91	0.0	95	94	95	101	104
	平年比・差	93	0.0	100	96	89	93	97
コシヒカリ	<b>R5</b>	<b>14.0</b>	<b>2.6</b>	<b>3.8</b>	<b>90.6</b>	<b>18.6</b>	<b>20.6</b>	<b>1.33</b>
	R4	14.7	2.4	4.3	84.4	17.1	20.4	1.17
	平年	14.3	2.6	3.8	88.9	17.7	20.1	1.24
	前年比・差	95	0.2	89	107	109	101	114
	平年比・差	98	0.0	100	102	105	103	107
てんこもり	<b>R5</b>	<b>12.4</b>	<b>2.9</b>	<b>3.4</b>	<b>84.7</b>	<b>16.8</b>	<b>19.7</b>	<b>1.38</b>
	R4	11.3	2.9	3.4	90.7	18.2	19.9	1.58
	平年	12.2	2.7	3.4	85.8	17.3	20.3	1.42
	前年比・差	110	0.0	98	93	92	99	87
	平年比・差	102	0.2	98	99	97	97	97

注) 平年：H25～R4年の平均、充実度：乾物重÷草丈

### （2）本田での生育状況

#### ①てんたかく

平年に比べ、草丈、茎数は並、葉齢は0.2葉遅れている。

#### ②コシヒカリ

平年に比べ、草丈、葉齢は並、茎数はやや多くなっている。

#### ③てんこもり

平年に比べ、草丈は並、茎数は少なく、葉齢は0.4葉遅れている。

表2 水稻の生育状況（5月30日 生育観測ほ）

品種	年次	田植日 (月/日)	植付本数 (本/株)	栽植密度 (本/m <sup>2</sup> )	草丈 (cm)	茎数		葉齢	葉色	
						(本/株)	(本/m <sup>2</sup> )		葉色板	SPAD
てんたかく	<b>R5</b>	<b>5月3日</b>	<b>3.8</b>	<b>21.2</b>	<b>25.3</b>	<b>9.9</b>	<b>210</b>	<b>6.7</b>	<b>4.3</b>	<b>37.6</b>
	R4	5月1日	3.8	21.7	22.2	10.7	231	7.2	4.4	39.8
	平年	5月4日	3.8	21.5	26.1	10.0	214	6.9	4.4	40.9
	前年比・差	2	0.0	-0.5	114	92	91	-0.5	-0.1	-2.2
	平年比・差	-1	0.0	-0.3	97	99	98	-0.2	-0.1	-3.3
コシヒカリ	<b>R5</b>	<b>5月13日</b>	<b>3.8</b>	<b>21.7</b>	<b>25.3</b>	<b>5.8</b>	<b>127</b>	<b>5.2</b>	<b>4.0</b>	<b>32.2</b>
	R4	5月13日	3.8	22.1	25.6	6.2	135	5.2	4.0	35.7
	平年	5月14日	3.8	21.7	24.5	5.6	121	5.1	3.9	36.5
	前年比・差	0	0.0	-0.4	99	94	94	0.0	0.0	-3.5
	平年比・差	-1	0.0	0.0	103	105	105	0.1	0.1	-4.3
てんこもり	<b>R5</b>	<b>5月10日</b>	<b>4.1</b>	<b>19.5</b>	<b>23.2</b>	<b>7.7</b>	<b>148</b>	<b>6.0</b>	<b>4.3</b>	<b>35.0</b>
	R4	5月8日	3.5	18.8	22.2	8.5	159	6.3	4.3	39.9
	平年	5月8日	3.8	19.2	23.4	9.1	171	6.4	4.3	40.1
	前年比・差	2	0.6	0.7	105	91	93	-0.3	0.0	-4.9
	平年比・差	2	0.3	0.3	99	85	86	-0.4	0.0	-5.1

注) 平年：H25～R4年の平均

### 3 当面の技術対策

- ・「てんたかく」、「てんこもり」等の田植時期が早いほ場では、今後、茎数の増加が見込まれることから、田植後1か月までに遅れないよう溝掘り・中干しを行う。
- ・「コシヒカリ」は、田植後3週間を目安に入水を止め、適度な土壌硬度を確保した上で、田植後4週間までに溝掘りを行い、中干しを開始する。

#### (1) 「てんたかく」、「てんこもり」等の田植時期が早いほ場の管理

今後、気温の上昇等に伴い、茎数の増加が見込まれることから、田植後1か月までに中干しを遅れずに開始する。また、中干しに入る前に、確実に5m（15～17条）に1本を目安に溝掘りを行い、ほ場への入排水の効率を高める。

#### (2) 「コシヒカリ」の管理

- ・田植後3週間を目安に入水を止め、適度な土壌硬度を確保した上で、田植後4週間までに溝掘りを行う。
- ・中干しは田植後4週間までに確実に開始する。

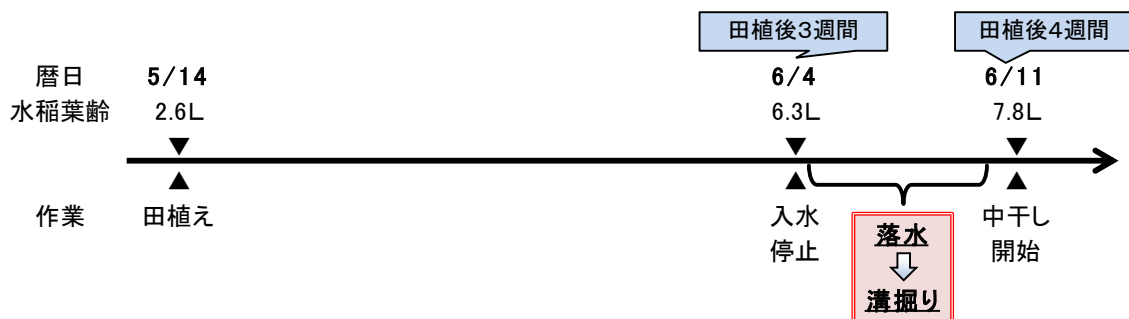


図2 溝掘りと中干し実施のイメージ

注) 水稻葉齢：H25～R4 生育観測ほコシヒカリの平均値

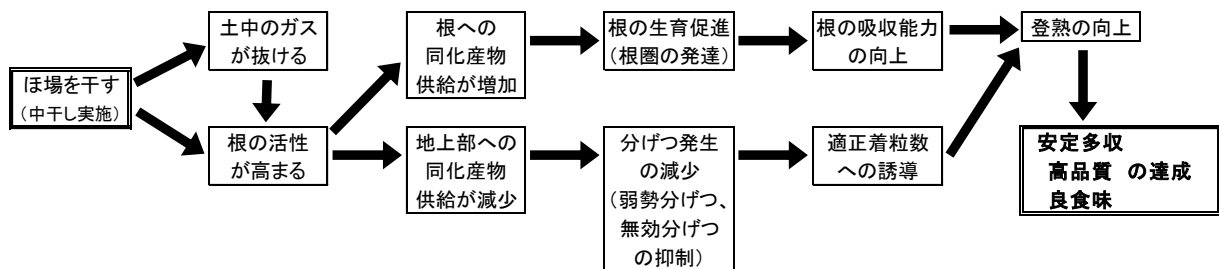


図3 中干しの効果

#### (3) 共通管理

##### ① 雑草防除を的確に

- ・雑草の発生がみられる場合は、草種と生育期に応じて、適切な中・後期剤を散布する。
- ・除草剤の散布にあたっては、使用基準を厳守するとともに、湛水散布の場合、散布後7日間は止水管理（「落水」や「かけ流し」をしない）とし、水田外への流亡を防ぐ。

##### ② 病虫害防除を徹底

###### <いもち病>

- ・苗箱施薬で殺菌剤を施用していない場合は、予防粒剤を6月20日頃までに散布する。

###### <斑点米カメムシ類>

- ・今後、気温の上昇に伴い発生量が多くなると見込まれるので、イネ科雑草の穂が出ないように草刈りを徹底する。
- ・本田内のノビエやホタルイも、斑点米カメムシ類による被害を助長するので、除草を徹底する。

※草刈り運動期間：7月1日（土）～10日（月）一斉草刈り日：7月1日（土）～2日（日）

# 「富富富」の生育状況と当面の技術対策について

## 1 生育状況（生育観測ほ等データ）

### （1）苗の状況

近年に比べ、草丈、第1葉鞘長はやや短く、葉齢は並、乾物率は高かった。

表1 苗の生育状況（生育観測ほ等）

年度	草丈 (cm)	葉齢 (葉)	第1葉鞘長 (cm)	生体重 (mg)	乾物重 (mg)	乾物率 (%)	充実度 (mg/cm)
R5	11.5	2.5	3.4	76.3	15.7	20.6	1.37
R4	12.5	2.6	3.6	85.2	15.1	17.8	1.21
近年	12.5	2.5	3.7	81.3	15.2	18.8	1.23
前年比・差	92	-0.1	100	90	104	116	113
近年比・差	92	0.0	93	94	103	110	112

注1) 平均値：10ほ場平均（生育観測ほ：4ほ場、栽植密度・遅植え・プラ改善（内立山、小矢部）対照区：6ほ場）

注2) 近年値：H29～R4平均

### （2）本田での生育状況

近年に比べ、草丈、茎数は並、葉齢は0.3葉遅れている。

表2 「富富富」の生育状況（5月30日 生育観測ほ等）

年次	田植日 (月/日)	植付本数 (本/株)	栽植密度 (本/㎡)	草丈 (cm)	茎数		葉齢 (L)	葉色	
					(本/株)	(本/㎡)		葉色板	SPAD
R5	5月16日	4.1	21.8	21.5	5.1	109	4.7	4.0	32.5
R4	5月16日	3.7	21.2	23.7	5.0	104	4.9	4.1	31.9
近年	5月15日	3.9	21.5	22.6	5.2	112	5.0	4.0	32.8
前年比・差	0	0.4	-0.5	91	102	105	-0.2	-0.1	0.6
近年比・差	1	0.2	0.3	95	97	98	-0.3	0.0	-0.3

注1) 平均値：10ほ場平均（生育観測ほ：4ほ場、栽植密度・遅植え・プラ改善（内立山、小矢部）対照区：6ほ場）

注2) 近年値：H29～R4平均

## 2 当面の技術対策

- ・田植後3週間を目安に入水を止め、適度な土壤硬度を確保した上で、田植後4週間までに溝掘りを行う。
- ・中干しは田植後4週間までに遅れないよう確実に開始する。

### （1）浅水管理

田植後3週間までは、浅水管理により水温の上昇に努め、分げつの発生を促進する。

### （2）溝掘りと中干し

水管理の効率を高めるため、田植後3週間を目安に入水を止め、適度な土壤硬度を確保した上で、田植後4週間までに溝掘りを行う。

また、「富富富」は生育期間を通して葉色がやや濃く推移することから、幼穂形成期に適正な葉色へ誘導し、目標とする粒数を確保するため、中干しは田植後4週間までに遅れないよう確実に開始する。

### （3）その他の管理

病害虫および雑草防除は、コシヒカリに準じて実施する。ただし、生育期間を通じた化学合成農薬の成分使用回数が12以内となるよう留意する。

次回の調査日は6月5日（月）です。  
生育調査及び溝掘り・中干し状況の確認をお願いします。

**「田植後4週間までの中干しの確実な開始」**が、  
きれいで、美味しい「富富富」を穫るポイント！

# 「過剰籾数は、厳禁」

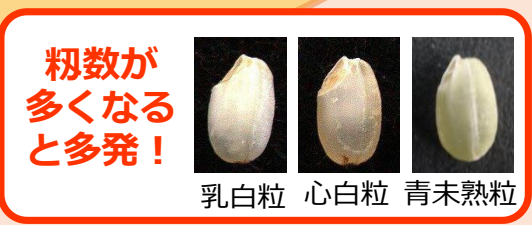
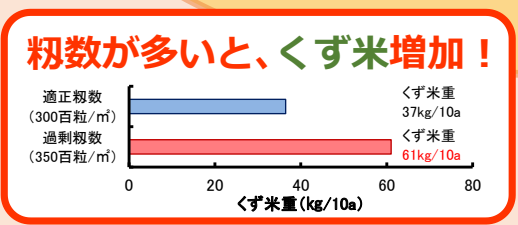


「富富富」ちゃ、な～ん倒れんから、  
でっかいと肥料やって、  
**たくさん籾**つけてやれ！

**過剰な籾**は、絶対につけちゃダメだよ！  
**過剰**になると、悪いことばかりなんだ！！



- ① **くず米が多く、収量少ない**  
くず米や色彩選別ではじく米が多く、収量が低下！
- ② **品質・食味の低下**  
乳白粒、心白粒、青未熟粒が増加！  
タンパク含有率が高く美味しくない米に！
- ③ **登熟がばらつく**  
籾の黄化がばらつき、刈取適期がわかりにくい！



過剰籾数の主な原因は

**「基肥のやりすぎ」と**  
**「中干しの遅れ」**

**注目!**

**「適正な基肥窒素量の施用」**  
**「田植後4週間までの中干しの確実な開始」**